

令和3年2月24日

当初予算説明

2月定例会議

常総市



昨年、多くの市民の皆様のご支持をいただき、市長の職を継続できることに身の引き締まる思いを実感しております。世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な感染症対策、新しい生活様式への対応が求められるほか、人口減少、地域防災力の強化などの多くの課題を抱えておりますが、引き続き、議会の皆さまを始め、各方面からご協力をいただきながら、市政運営に努めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

本日、ここに令和3年度予算を提出するに当たりまして、予算編成の基本的な考え方及び重点施策等についてご説明申し上げます。

今回、令和3年度予算につきましては、市長に就任後5回目の当初予算編成となります。限られた財源の中で、未来に誇れる常総市をつくるため、じょうそう未来創生プラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業に重点的に取り組み、民間のノウハウや資金の活用、事務のICT化及び自主財源の確保を推進していきたいと考え、予算編成を行いました。

まず、現在の常総市の財政状況からご説明申し上げます。

歳入面においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の落ち込みにより、市民税は大幅な減収の見込みになっており、固定資産税につきましても地価の下落傾向、評価替えによる在来家屋の年数経過により減収見込みとなっております。普通交付税につきましては、市税等の減収などを勘案し、増加と見込んでおります。

歳出面においては、高齢化の進行等による社会保障費の増加などで義務的経費が増加傾向にあり、慢性的な財源不足から、人件費の抑制や経常経費の削減により収支の均衡を保っている状況であります。

このため、事業の緊急度・優先度を見極めた各部長主導の予算要求とし、真に必要な事業に重点を置き、予算措置を行ったところです。

主な重点施策としましては、地域公共交通再編事業計画策定支援委託料や移動スーパー運行事業、消防団応援の店事業、圏央道常総インターチェンジ周辺地域土地改良事業の換地・確定測量業務委託料や企業立地奨励金及び雇用拡大奨励金、新産業団地整備計画策定業務委託料や道の駅用地購入費などの予算を盛り込んだところです。

以上が予算編成及び重点施策の概要であります。

次に、令和3年度の予算規模であります。一般会計で2百27億6千万円、

6つの特別会計で百87億3千2百26万9千円となり、合わせますと4百14億9千2百26万9千円になるものです。

以下、会計ごとにご説明申し上げます。

まず、議案第116号 令和3年度常総市一般会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、2百27億6千万円で、前年度当初予算と比較しますと4億7千3百万円、2パーセントの減になるものです。

まず歳入ですが、市民税につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の落ち込みにより、大幅な減収の見込みになっております。固定資産税は、地価の下落傾向、評価替えによる在来家屋の年数経過により減収見込みとなっており、市税全体では前年度から6億4千4百7万8千円減の86億6千8百67万1千円を計上しております。

地方交付税につきましては、普通交付税35億5千万円、特別交付税3億5千万円、合わせて39億円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、生活保護扶助費負担金、道路や橋りょうの整備に対する社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金などがございます。

県支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、茨城県知事選挙費や衆議院議員選挙費の委託金などがございます。

市債につきましては、道路新設改良事業債2億3千5百60万円、道の駅整備事業債3億9千万円や臨時財政対策債10億5百万円など、総額で19億3千2百40万円を計上いたしました。

その他の歳入につきましても、関係法令の基準や過去における収入状況などを十分に検証しまして、それぞれ計上いたしました。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

初めに、人件費につきましては、一般職給460人分を見込んだ上で、特別職の給料及び部課長等の管理職手当を引き続き10パーセント減額した経費を計上いたしました。

続いて、款別の主なものをご説明申し上げます。

まず、議会費につきましては、議員報酬、ペーパーレス会議システムに係る経費などの計上でございます。

総務費につきましては、コミュニティバスルート設計等を行う地域公共交通再編事業計画策定支援業務委託料のほか、茨城県知事選挙費や衆議院議員選挙費などを計上いたしました。

民生費につきましては、障がい者の自立支援給付費や移動スーパー運行事業委託料などを計上いたしました。

衛生費につきましては、子育て世代のニーズに合わせた情報提供をすることができる子育て支援アプリの経費のほか予防接種費用などを盛り込んだところでございます。

農林水産業費につきましては、圏央道常総インターチェンジ周辺地域土地改良事業の換地・確定測量業務委託料や新規就農者支援事業などを計上いたしました。

商工費につきましては、企業立地及び雇用の拡大を図るために企業立地奨励金や雇用拡大奨励金、令和元年台風15号・19号の被災企業支援としまして災害対策融資保証料や利子補給助成金を計上いたしました。

土木費につきましては、幹線道路及び生活道路の改良工事費、橋りょうの維持事業費、新産業団地整備計画策定経費や道の駅整備事業経費などを計上いたしました。

消防費につきましては、消防団員やその家族に対してサービスをしていただく消防団応援の店関連経費のほか、避難所標識設置等工事費などを計上いたしました。

教育費につきましては、市立小中学校適正配置実施計画経費や豊岡給食センターで使用する給食配送用保冷車購入費などを計上いたしました。

以上が今回ご提案いたしました令和3年度一般会計の概要であります。詳細につきましては、委員会等におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

まず、議案第117号 令和3年度常総市国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、65億5千9百77万9千円でございます。

歳入につきましては、15,572人分の国民健康保険税、県支出金、一般会計繰入金などがございます。

歳出につきましては、療養給付費や高額療養費の他、国民健康保険事業費納付金などを見込み、必要額を計上しております。

次に、議案第118号 令和3年度常総市後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、13億6千8百79万8千円でございます。

歳入につきましては、被保険者9,218人分の保険料のほか一般会計繰入金などがございます。歳出につきましては、広域連合納付金、特定健診の費用などを計上しております。

次に、議案第119号 令和3年度常総市介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、52億9千9百81万1千円でございます。

歳入につきましては、第1号被保険者18,495人分の保険料のほか、介護保険法に定められた負担割合に応じ、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び低所得者保険料軽減分を含めた一般会計繰入金などをそれぞれ計上いたしました。

歳出につきましては、人件費のほか、要介護認定者が受ける介護サービス給付などの保険給付費が主なものでございます。

次に、議案第120号 令和3年度常総市介護サービス事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、1千6百87万円でございます。

歳入につきましては、介護予防サービス計画作成報酬が主なもので、歳出につきましては、計画作成の一部を委託するための経費などを計上いたしました。

次に、議案第121号 令和3年度常総市水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、水道料金、新規加入分担金、消火栓負担金など15億9千3百39万5千円を計上いたしました。

支出につきましては、人件費のほか、受水費、減価償却費などを合わせて15億3千85万7千円でございます。

次に資本的予算であります。収入につきましては、工事負担金と企業債など3億1千5百77万円を計上しております。支出につきましては、相野谷浄水場3号・5号配水ポンプ更新工事費のほか、重要給水施設配水管布設工事費などを合わせて6億9千5百20万3千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億7千9百43万3千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものです。

次に、議案第122号 令和3年度常総市下水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、使用料、一般会計補助金など、支出につきましては、人件費のほか、処理場維持管理委託料、減価償却費など13億4千90万円を計上いたしました。

次に資本的予算であります。収入につきましては、企業債、一般会計出資金、国庫補助金などを合わせて16億1千5百13万8千円を計上しております。

支出につきましては、坂手、豊岡地区及び新石下地区の面整備工事費のほか、本石下地区の下水路整備などを合わせて19億1千8百5万1千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億2百91万3千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金などで補填するものです。

以上が今回ご提案申し上げました特別会計予算の概要であります。

なお、詳細につきましては、委員会等におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討のうえ適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。